

全国の高校で採用シェアを伸ばし続ける

唯一の教科書密着型辞典

新課程・共通テストで求められる

語彙力 表現力 を強力にサポート

最新の高校教科書を調査して大型辞典にも
載っていない語句・語義まで採録



難解な**評論文キーワード**への対応も
いっそう強化し高校生の自習にも役立つ

小野正弘 主幹

市川孝・見坊豪紀・飯間浩明・中里理子・鳴海伸一・関口祐未 編

B6判 | 1,632ページ | 2色刷 | 定価: 本体2,800円+税

三省堂

第六版の6大特色

1 最新の教科書に対応

『国語総合』『現代文』の各社最新版を調査し、本書でしか調べられない語句・語義を含め丹念に採録。この蓄積が、高校生の自習を強力にサポート。(中面の採録語例をご参照ください)

2 評論文読解のための工夫

教科書や大学入試に大きなウエイトを占める、いわゆる評論文キーワードについて、大型辞典にも載っていない語義・語句を含め分かりやすく説明。

3 語彙力アップのために

群を抜く類義語・対義語・関連語の掲載数。学習コラムとして、見出し語の複合語や類義・関連表現などを幅広く集めた「ことばの世界」を随所に配置。

4 収録語数77,500

本文全体を点検して記述に更新・改善を施し、近年生じた語義や用法を補うとともに、新たに地歴公民のセンター試験過去問や生物・地学・情報・家庭・保健体育などの教科書に使われている一般用語、いわゆる新語・ABC略語や、その他この辞典が独自に捕捉した語句など、約1千項目を増補。

5 読みやすい紙面

本文中のふりがなは、中学一年時以降に習う漢字・読みを目安に示し、使いやすさに配慮。

6 2種の付録を新設

書き取りに強くなる「同表記異読み異義語」
「同音異義語の使い分け」を新設。「敬語の概要」「手紙の書き方」「季語一覧」「難読語一覧」「まちがえやすい漢字の例」「ABC略語集」など多彩な付録。

評論文キーワードの例

- 位相 ●円環(ループ) ●解消 ●仮託 ●価値 ●還元 ●記号(シー・ニコ)
- 機制(入試験出語) ●欺瞞 ●虚構(ライクション) ●結節 ●現在地
- 幻視/幻聴 ●肯定/承認/否定 ●行動原理 ●コード ●互酬 ●自己完結/自己言及/自己相対化/自己目的化 ●指数関数(一的) ●市民
- 周縁(化) ●消極的/積極的 ●ストレイシープ ●制度 ●前景(化)
- 装置(入試験出語) ●疎外 ●大衆 ●他者 ●立ち現れる ●縦系/横系
- テキスト ●投企 ●ドグマティック ●トポス ●非在 ●批判 ●ヒュー
- マニズム ●表象 ●表徴 ●ブルジョアジー ●分節 ●文脈 ●ムラ(村) ●メルクマール ●物語(入試験出語) ●予定調和 ●リベラル/リベラリズム/ネオリベラリズム ●両義的
- 両面価値(アンビバレンス)

高校生向け国語辞典の真価を追求する

唯一の教科書密着型辞典がさらにパワーアップ!

評論文キーワードへの対応をさらに強化

入試問題文にも頻出する評論文特有の語義を、大型辞典にも載っていないものまで含め分かりやすく説明。

かいしよう【解消】〈名・自他動サ変〉①今までの状態や関係がすっかりなくなること。また、なくすこと。②個別に考えられる問題を一般的問題としてたどること。③「自己責任論」→「ない問題」

コード【code】〈名〉①同じ種類のをを区別するために割り当てる数字または文字(の組み合わせ)。②学生「コンピューター」の文字「類ID」③暗号「一ネーム」④規定・規則。「放送」⑤「言語学」→「意思伝達」あの上で大前提となる言語集団(こと)に異なる文化的な決まりごと・約束ごと。「英語の」で理解不可能なあいまいな習慣「名・他動サ変」⑥「生物学」→「遺伝子」が、タンパク質を合成するための設計図としての情報をもとにしての。また、その情報。遺伝暗号。

せいど【制度】〈名〉①ある社会や国家を運営するために定められているしくみ。「教育」・「選挙」・「年金」・「貨幣」→「改革」②現代思想で「ある社会で公認」される「その社会で生きる」ための、人々の約束ごと。「従わなければならない」ため、その情報。遺伝暗号。

ぜんけい【前景】〈名〉①てまえのほうに見える景色。「」がぼけた写真「関連」→「中景」・「後景」②はつきりとした「目立つ」ほう。「改憲論が」化する。「医学」→「身体症状」のみが「」に現れる「類」前面

そうち【装置】〈名・他動サ変〉機械や道具などをそなへけること。また、その機械や道具。「心臓救命」(AED)・「緊急」の脱出「類」デバイス「名」③「現代思想」で「国家や社会のさまざまな制度や体制を運用維持」するための施設や組織のたぐい。「例」議会・裁判所・軍隊・学校など。④↑舞台「装置」。

言葉への理解・関心を高める「由来」

言葉のより深い理解に役立つよう、成り立ちを「由来」ラベルで説明。

かくかい【角界】〈名〉力士とその関係者の社会。かくかい。「由来」は「すもうの当て字」角力(かど)からくる「か」を「すもう」の意味「かい」。

かじ【鍛冶】〈名〉金属を熱してたぎ、道具などを作ること。また、その職人。「一屋・力」。「由来」金打(かねうち)→かぢの変化。

せいしゅん【青春】〈名〉十五歳頃からの、人生の希望にもえる若くて元気な時代にあること。「」を謳歌する。「」の思ひ出「時代」。「由来」もと「春」のこと。古代中国の五行説で木には季節として春、色として青が対応したことから。夏は「朱夏」、秋は「白秋」、冬は「玄冬」(玄黒)と言った。

言葉の的確な運用に資する「比較」

「比較」欄で、類義語どうしの意味・用法の違いを用例付きで解説。

比較「関係」①「人・もの」ごとならなく、広い範囲(はんで)使う。「人間と自然との」親子」
関連「多く」ごとならなく、つながりに使う。「この事件の」→「会社」
関与「人が、もの」ごに直接かかわる場合に使う。「事件に」した者」

「その他の項目例」「謝る・わびる」「囲む・囲う」「からまる・もつれる」「着目・着眼」「同意・合意」……

類書や大型辞典にも載っていない語句・語義を満載！

現代文教材 ● 庄環(堀江敏幸)瓦を解かないこと ● 異情(室生犀星)小景(異情) ● 魚串(動騒)志賀直哉城の崎にて(選) ● 選みが利く/木取る/固々/ぶっこ抜き(幸田文濃紺) ● 大いな/我とも知らず(夏目漱石)ころろ ● 環世界(日高敏隆「木の葉と光」生物の作る環境) ● 機前/左隻(原研哉)空白の意味) ● クリテイルシンキング(コラム) ● 滅弱/内語(河野哲也)環境と身体) ● 好所(夏目漱石)現代日本の開化) ● 獄を断ずる/人材を知る/鈴索(すずなわ)動植金石/陶炉(森鷗外)舞姫) ● 細勁(小林秀雄)無常ということ) ● 探餌(上田恵介)ウサギの耳はなぜ長い?) ● 最終兵器(西谷修)戦争の(不可能性) ● 視覚化(毛利衛)新しい地球観) ● 私観(坂口安吾)日本文化私観) ● 自己目的化(池田清彦)「もの」の科学から「こと」の科学へ) ● 時間軸(岩井克人)貨幣共同体・福岡伸一「生物と無生物のあいだ」米原万里)バグダッドの靴磨き) ● 執念(しゅうねん)芥川龍之介)羅生門) ● 結節点/出アフリカ/線刻(池内了)マンモスの歩いた道) ● 材を取る(コラム) ● 守備範囲(村上陽一郎)科学者とは何か) ● 狩猟民族(星野道夫)ワスレナグサ) / 農耕民族(藤原新也)イスラム感覚) ● 触知(宗ル)へ(砂の本) ● 人柱像(清岡卓行)手の変幻)「ミロのヴィーナス」 ● 専一的(内田樹)なぜ私たちは労働するのか) ● 全知視点(コラム) ● 叢中(中島敦)山月記) ● 族支(見田宗介)「南の貧困」北の貧困) ● 高見(たかみ)樋口)葉たけくらべ) ● 脱工業化(岩井克人)マルジャーナの知恵) ● 他発的(外山滋比古「思われる」と考える) ● 地上絵(手塚治虫)「世界は謎に満ちている」) ● 中心静脈(柳澤桂子)「命は誰のものなのか」病と科学) ● 超躍(坂口安吾)文学のふるさと) ● 何がしか(石原吉郎)ある(共生)の経験から) ● 二項(図式)黒崎政男(「私」はどこへ行く?) ● 二次創作(コラム) ● 繁熱(北村透谷)漫罵) ● 響

各教科特有の語義も多数収録

国語以外の教科書についても調査し、大型辞典にも載っていない科目特有の語義まで掲載。

たべん〔多弁〕●名・形動「よくしゃべること。口をうつしむ」●類「冗舌(じつご)・おしゃべり・口まめ・多言・長広舌(ちやうご)」「対「寡黙(くわもく)」「名」●植物「菊(きく)のように、たくさんのお花弁(はなびら)がべんべん」●「花」

なんぼく〔南北〕●名「南と北。南部と北部、南方と北方など。大陸をーに走る山脈」●「対「東西」●多く南半球にある発展途上(たうじやう)の国と北半球に多い先進国」●「の経済格差(けいざい)問題」

ようらん〔揺らん〕●名「ゆりかごの学問的な言い方」●「ものごとの発展のはじまり」●「の地」●「期」●「生物学(せいぶつがく)である種の昆虫(こうちゆう)がその中に卵(たまご)を産みつけて、羽化(うけ)するまで保護(ほご)するための葉巻(はまき)をくまひしたものを」

作品・作家への理解が深まる作品名・人名

学校教材にも登場しやすい、主要な文学作品名・人名項目も収録。

あくたがわりゆうのすけ〔芥川龍之介〕●名(一九〇三)小説家。東京生まれ。号は澄江堂(じやうかう)主人・我鬼(がいかい)。新思潮派(しんしやうは)の作家。現実(げんじつ)の知的な解釈(かいさく)を、歴史(れきし)・説話(せつわ)などの多様な素材(そざい)を借りて、洗練(せんれん)された技巧(ぎこう)と装飾(さうじやく)的な文体(ぶんたい)で表現(ひょうげん)した。のち、「将来(きやうらい)に対する確かな(たしかな)不安(ふあん)から自殺(じくさつ)」。小説(せうせつ)に、「王朝物(てうわうぶつ)」「鼻(はな)」「羅生門(らせいもん)」「地獄変(ぢごくへん)」、切支丹(せつしたん)物「奉教人(ほうきやうじん)の死(し)」、江戸物(えどぶつ)「戯作(ぎさく)三昧(さんまい)」「開化期物(けいけいきぶつ)」「舞踏会(まいだうかい)のほか」「河童(かどう)」「齒車(はぐるま)」など。

誤用・俗用の認識を促す「注意」

〔注意〕ラベルで、誤用や俗用、同じ表記の別語などについて注意を喚起。

きとく〔奇特〕●形動「おこないや心がけがよく、感心(かんしん)なようす」●「な心がけ」「古くはきとく」とも言った●類「殊勝(じゆしやう)」「眠(ね)って、またほ皮肉(かわにく)をこめ」●「ふうはわざわざな(じ)を、進(すす)んでするようす」●注意①が本来(ほんらい)の意味。

ひなが〔日長・日永〕●名「昼(ひる)が長いこと」●「春(はる)の」●春(はる)●対「夜長(よなが)」●注意「日長(ひなが)とは別の(べつ)こと」

やぶさか●名「(舌(した)か)形動」ためったり、ものおしみをしたりするようす。やぶ古(やぶこ)言(ご)い方(かた)――でない「「ーにー」の形(かたち)で」●①「する努力(どりよく)をおまなない」●「するになんのためらいもない」という積極(きじやく)的な気持ち(きもち)を速(すみ)やかに表(あらわ)す。協力(きやうりやく)するこー●②「俗(ぞく)に」●「そうする必要がある(ひつやうがある)なら、べつに」●「してもかまわない」という消極(けうきやく)的な気持ち(きもち)を表(あらわ)す。●注意①が本来(ほんらい)の意味。

らしょうもん〔羅生門〕●篇(へん) 芥川龍之介(かいけうりゆうのすけ)の小説(せうせつ)。一九一五(大正四)年、雑誌発表(ざっしはつぷ)。「平安末期(へいあんまき)の荒廃(こうはい)した羅生門(らせいもん)〔平安京(へいあんきやう)の正門(せいもん)を舞(ま)台(たい)に〕、生きるためにやむをえず悪(あく)を行う人間のエゴイズムを描(えが)く」●「今昔(いまむかし)の物語(ものがたり)の說話(せわご)に、独自の近代的(きんたいてき)解釈(かいさく)を加(く)えた、作者(そしや)の歴史(れきし)小説(せうせつ)の原型(げんげい)」

き合う(中野孝次「物の見えたる光」) ● フォロワーシップ(鷗田清

「真の自立とは」) ● 振る舞う(入不二基義「ものさし」の恍惚と

不安) ● 分節(内田樹「言葉は「もの」の名前ではない」) ● 閉塞(

感(鷗田清「見えないものを見る」) ● 魔人(若林幹夫「魔術化する

科学技術」) ● マッピング(コラム) ● 幽体離脱(吉岡洋情報と

身体) ● 洋魂(加藤周二「日本文化の雑種性」) ● 予知夢(村上

春樹「鏡」) ● 読んで字のごとし(小林秀雄「美を求めの心」) ●

両価的(河野哲也「ファクションの遊戯性」) ● 流亡(鷗谷いづみ

「イースター島になぜ森がないのか」) ● 旅上(萩原朔太郎「旅上」)

文学・文法 ● 生かす/殺す ● 打ち言葉 ● うなぎ文 ●

回収(伏線を一する) ● 確述 ● 漢文(訓読調) ● 綺藻 ● 競

書 ● 景情一致 ● 行論 ● 主述 ● 章段 ● 正仮名 ●

整調 ● 草子地 ● ダブルミーニング ● 単義/複義 ● 超

訳 ● デイスクコミュニケーション ● 提題/取り立て ● 添加

● 二重敬語 ● 反実仮想/反実希望 ● 非文 ● 復読 ● 筆

になる ● 筆押さえ ● フラグ ● 変奏 ● ポーイミーツ

ガール ● 翻訳調 ● メトニミー ● 訳稿 ● 裸本 ● レト

ロニム ● 連続/連続語 ● 連用中止法

英語 ● キーセンテンス ● 再帰 ● シヤドーイング ● 譲

歩 ● セファール(EFF) ● チャンク ● 聴解 ● 同族目的

語 ● パッセージ

日本史/世界史 ● 指極性 ● 凶史/凶典 ● 百姓 ● 埋納

● 祭り事 ● ヤマト王権

現代社会・経済・倫理 ● 括弧に入れる ● 五行 ● 国制 ●

国家予算 ● 出勤 ● 情報の非対称性 ● 新自由主義(入試

頻出語) ● 生命の質/生命の尊厳 ● 中銀 ● 南北 ● 被

造物 ● プラザ合意(入試験出語) ● ポンジ(ースキーム ●

ヤマラシのジレンマ ● 預金封鎖

地理・地学 ● 以深/以浅 ● 源水 ● 里海 ● 中央高地

● 東縁/西縁/南縁/北縁 ● 特別警報 ● 二足(一歩行)

● 発電

生物 ● 生きている化石 ● 失われた環 ● 海生 ● 交配

● 受容 ● 砂地(すなち) ● 多弁 ● 地下組織 ● ドメイン

● 日長 ● 媒介 ● 噴気孔 ● 北帰行 ● 揺籃

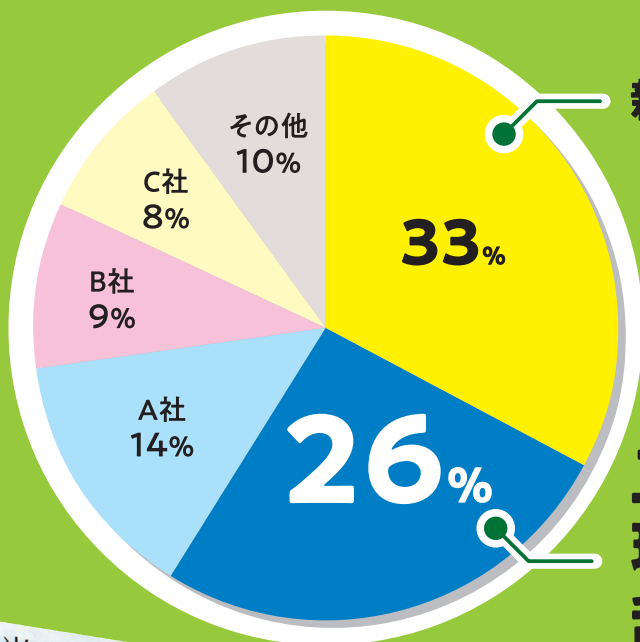
家庭・技術 ● 家政士 ● 型取る ● 国民食 ● 穿(は)き物

● 端材 ● 水洗い ● やする

保健体育・医学 ● 温存療法 ● 挙上 ● 禁断 ● 空気椅子

国語辞典・高校推薦シェアは、新明解国語に続いて第2位!

高校生の授業活用を特に重視した内容で、
全国の先生方から高評価をいただいています!



新明解国語辞典

三省堂
現代新国語
辞典

* 当社調べ: 2019年新学期の採用・単独推薦校集計による。



高校生の授業に「最適の」国語辞典を目指して

辞書というものはどんな特色を持つものであれ、知りたい言葉が載っていないことにはそもそもの用をなしません。高校生にとって最も引く必要のある言葉とは、授業(教科書)に出てくる言葉です。三省堂現代新国語辞典は、全9社の最新の「国語総合」と「現代文」はもちろん、他教科の教科書や大学入試問題文から、大型辞典や指導書にも載っていないような語句まで採録しています。国語の授業にとどまらず、あらゆる学習の場面でご活用ください。

三省堂 現代新国語辞典 第六版

小野正弘 [主幹]

市川 孝・見坊豪紀・飯間浩明・中里理子・鳴海伸一・関口祐未 [編]
B6判・1,632ページ・2色刷・定価(本体2,800円+税)

<http://www.sanseido.co.jp/>

三省堂

- ◎ 本社 〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14 ☎ 03(3230)9411(編集)・9412(営業)
- ◎ 大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎ 06(6341)2177
- ◎ 九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 ☎ 092(531)1531